

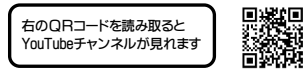
《拓の会ニュース》

Vol.32

■拓の会例会予定（3月）

☆オブザーバー参加のお申し込みは事務局まで。（TEL: 0155-22-3611）

- | | | |
|------------|--|---|
| 第1G | <p>■日 時:3月15日(水)19:00~21:00</p> <p>■会 場:同友会会議室またはZOOMでの参加</p> | <p>■テーマ:不便を抱えて働く立場から守る立場へ</p> <p>■話題提供者:ひらの社会保険労務士事務所 社会保険労務士 平野 直美 氏</p> |
| 第2G | <p>■日 時:3月22日(水)19:00~21:00</p> <p>■会 場:同友会会議室またはZOOMでの参加</p> | <p>■テーマ:カードゲームを通して、コミュニケーションを図ろう</p> <p>■話題提供者:参加者全員</p> |
| 第3G | <p>■日 時:3月24日(金)19:00~21:00</p> <p>■会 場:同友会会議室またはZOOMでの参加</p> | <p>■テーマ:今期の総括と来期の予定について</p> <p>■話題提供者:参加者全員</p> |
| 第4G | <p>■日 時:3月29日(水)19:00~21:00</p> <p>■会 場:うぐいす</p> | <p>■テーマ:今年度の反省と次年度の打ち合わせ&懇親会</p> <p>■話題提供者:参加者全員</p> |
| 第5G | <p>■日 時:3月9日(木)19:00~21:00</p> <p>■会 場:同友会会議室</p> | <p>■テーマ:函館支部障がい者雇用セミナーをみて、障がい者雇用について考える</p> <p>■話題提供者:参加者全員</p> |
| 第6G | <p>■日 時:3月10日(金)19:00~21:00</p> <p>■会 場:同友会会議室またはZOOMでの参加</p> | <p>■テーマ:それぞれが作る電子書籍の進捗、次年度のグループ名発表</p> <p>■話題提供者:参加者全員</p> |
| 第7G | <p>■日 時:3月15日(水)9:30~11:30</p> <p>■テーマ:アニマルウエルフェアで何が変わったのか?乳lifeなチーズを紹介。</p> | <p>■会 場:(株)坂根牧場</p> |
| 第8G | <p>■日 時:3月16日(木)19:00~21:00</p> <p>■会 場:旬菜まさゆめ駅前店</p> | <p>■テーマ:次年度のグループ名の改名と活動内容の再検討など</p> <p>■話題提供者:参加者全員</p> |



■拓の会例会報告（2月）

2月の例会は、1・3・6・7・8グループが「拓の会フォーラム」を、2・5グループが「障がい者雇用セミナー」を位置付けましたので、例会報告は通常とは異なる配置にしています。

<第1グループ>『侃々諤々』グループ 記 録：瀬戸氏
 ■日 時：2月3日（金）19：00～21：00
 ■場 所：とかち館またはZOOMでの参加
 ■参加者：11名
 ■テーマ：十勝のこれからを考える会 ～自社の業界から見る十勝の未来像～
 ■話題提供者：5名のパネルディスカッション

<第3グループ>『とかちの魅力を考える会』グループ 記 録：津田氏
 ■日 時：2月3日（金）19：00～21：00
 ■場 所：とかち館またはZOOMでの参加
 ■参加者：5名
 ■テーマ：十勝のこれからを考える会 ～自社の業界から見る十勝の未来像～
 ■話題提供者：5名のパネルディスカッション

【感想・報告】

2月は拓の会フォーラムを1グループの例会と位置づけました。前半はコーディネーターの小野寺さんからパネリストの方々に質問を投げ掛け、それぞれの業種（情報発信業・製造業・IT関連業・保険業）から見た十勝を語って頂きました。十勝と言えば農業や食、そして観光やスポーツ、職業について等をお聞きし、終盤の『十勝はパラダイス』この響きがとても鮮やかに心に残りました。後半はグループ討論で、私のいたグループでは、帯広中心街の空洞化の話題や観光地が少ないことが挙げられましたが、十勝各地でそれぞれ催しがある事や特産品を使った美味しい食べ物もある、とお聞きしました。でも結局十勝と言えば食べ物・・・だけ?のような話もあり、十勝の未来を考える序章のような大切な討論だったと思います。

【感想・報告】

拓の会フォーラムということで、他グループ、またオブザーバーの方とお話できる良い機会となりました。主に十勝の未来というテーマで、パネリストの話を聞いた上でグループ内で話し合いましたが、昨今の市況において先行きに不安を抱える声もありました。今後は地域のみならず外に目を向けて視野を広く持つ必要があるかと思いますが、知見を広く持つことにより十勝という地域の素晴らしさを発掘していくことが重要だと感じました。また、様々な世代の方とお話しでき、昔ならではの良さや活気を知ることができました。十勝のこれからのに向けて、変化を恐れずに挑戦していけるよう引き続き学んでいきたいと思っています。

《拓の会ニュース》

Vol.32

■拓の会例会報告（2月）

<第6グループ>『電子書籍』グループ

記録：高原氏

- 日時：2月3日（金）19：00～21：00
- 場所：とかち館またはZOOMでの参加
- 参加者：4名
- テーマ：十勝のこれからを考える会 ～自社の業界から見る十勝の未来像～
- 話題提供者：5名のパネルディスカッション

【感想・報告】

拓の会フォーラムとして開催された2月例会でした。4人のパネリストと小野寺さんのコーディネーターによって、テーマに沿ってテンポよくディスカッションが行われました。

パネリストの各社は業種、業態が異なりますが、話の中身は理解しやすく、「地域を成長、発展させる」という点で共通したものがあると考えます。地域企業の果たすべき役割、地域における立ち位置が明確になった例会であったと思います。

例会後半はグループ討論でした。討論後のグループ発表が設定されていなかったためか、全員がリラックスした雰囲気の中で本音の話ができたと感じました。グループ発表は「話をまとめる」「人に伝える」ためのトレーニングとなるものですが、たまには発表なしのディスカッションもありだと思えます。参加者それぞれ自社や業界の課題と地域の将来像について語っていました。

<第7グループ>『LiveCommerce』グループ

記録：河村氏

- 日時：2月3日（金）19：00～21：00
- 場所：とかち館またはZOOMでの参加
- 参加者：4名
- テーマ：十勝のこれからを考える会 ～自社の業界から見る十勝の未来像～
- 話題提供者：5名のパネルディスカッション

【感想・報告】

パネルディスカッションでは、『十勝のこれからを考える会 ～自社の業界から見る十勝の未来像～』と題して、(株)クナウパブリッシング 高原社長、高嶋コンクリート工業(株)加藤社長、リプラス(株)服部 帯広支店長、デジタルグラフィックス(株)河村の面々で、自分の肌感覚で、感じている事を大いに語り合いました。

コーディネーター(株)ミドリ機材 小野寺社長がそれぞれの持ち味を引き出してきて、多角的な視点から、十勝の未来を感じられるパネルディスカッションになったと思います。

拓の会のメンバーや同友会のみんなが、十勝の素晴らしい未来を創って行く一員であり、それぞれの視点で仲間同士で創造的な学びの場を創って行く事が、激動の時代の中で十勝が生き残る大きな鍵を握っていると感じました。

グループディスカッションでは、業界や年齢等の壁を越えて、今の情勢をどの様に乗り越えていくか、今、何に取り組むべきか、そんな話題が尽きませんでした。

<第8グループ>『ウェブマーケティング』グループ

記録：東山氏

- 日時：2月3日（金）19：00～21：00
- 場所：とかち館またはZOOMでの参加
- 参加者：7名
- テーマ：十勝のこれからを考える会 ～自社の業界から見る十勝の未来像～
- 話題提供者：5名のパネルディスカッション

【感想・報告】

司会進行は同グループの(株)進藤製造鉄工所 進藤さんでした。パネリストの方々とのやり取りを(株)ミドリ機材の小野寺社長が行い、パネリストの方々これまでの各企業での取り組みやエピソードなどを交代でお話されていました。また、今後の十勝を中心とした地域の活性化、活発化をする為の自社の取り組みや展望（妄想と表現されていました）、目標などを話されていました。

そのあと、ズーム参加者の中でグループ討論が行われました。自分のグループのメンバーは田代さん、丸山さん、大和さん、秋山さんとわたくし東山でした。

軽く自己紹介をした後、各自の業務内容や問題点、地域性や他地域との連携の取り方、今後の展望（妄想）などを話し合いました。

パネリストの方々のお話はもちろんですが、ズームグループでの少人数でのディスカッションが職種ごとに抱える問題点や外部との連携の取り方などについて、みなさんの意見を伺え大変参考になりました。



《拓の会ニュース》

Vol.32

■拓の会例会報告（2月）

<第2グループ> 『多様な労働環境・働き方を知り、考え、学びあう』グループ
 記録：井上氏
 ■日時：2月15日(水)19:00~21:00
 ■場所：同友会会議室またはZOOMでの参加
 ■参加者：9名
 ■テーマ：ソーシャルファーム（障がい者も健常者も共に働ける会社）を目指して～人が生きる経営実践～
 ■話題提供者：NPO法人フレンズ ワークサポートフレンズ 理事長 亀海 聡 氏

<第5グループ> 『障がいの特性を学ぶ』グループ
 記録：関口氏
 ■日時：2月15日(水)19:00~21:00
 ■場所：同友会会議室またはZOOMでの参加
 ■参加者：9名
 ■テーマ：ソーシャルファーム（障がい者も健常者も共に働ける会社）を目指して～人が生きる経営実践～
 ■話題提供者：参加者全員

【感想・報告】

話題提供者である亀海様はもととは旭川出身で、舞妓さんに会いたいという風変わった思いで京都の大学へ進学されました。その後、イギリスにおいて精神障がい者のボランティアサービスの経験を経て、障がい者の方々と関わる道に進まれ、現在に至るとのこと。その話される内容一つ一つがとても貴重なものでした。



その中で日本理化学工業（株）大山泰弘会長の言葉で「人間の究極の幸せ」とは

- ①人の役に立つこと
 - ②人から必要とされること
 - ③人に褒められること
 - ④人から愛されること
- というのは本当にココロに響きました。

また、障がい者雇用の前に「人間尊重の経営」「人を活かす経営」をしっかり実践していくこと、その先にこそ障がい者雇用があるという内容に亀海様は衝撃を受けた！と仰ってましたが、参加された誰もが同じく衝撃を受けたと思います。

【感想・報告】

今回のセミナーは社会福祉委員会と合同で開催し、NPO法人フレンズワークサポートフレンズの理事長の亀海 聡氏にご講演をいただきました。

ソーシャルファームを目指し、人が生きる経営実践がテーマでした。「人間尊重の経営」「人を生かす経営」の延長線上に「障害者雇用」があるということ。ソーシャルファームは人間尊重経営の会社形式であり、文字通りの社会的企業として、中小企業にとってこれから最も重要な会社形式になるのではないかということ。ここには「自主」「民主」「連帯」の三つの精神があり、ソーシャルファームに関わる人々が、自身の「宿命」「運命」「使命」を掘り下げ、考え続けることが重要であると語っておられました。

人が生きる経営とは、その人の「持ち味」を生かす「出番」がある事であり、「めあて」を持って「その気」になることが働く人々の原動力になる、ということ。僕の学びは、障がいの特性に合わせて任せる仕事を变えているという点です。自分の経営にも生かしていきたいです。



<第4グループ> 『会計・財務の超初級』グループ
 記録：岡村氏
 ■日時：2月7日(火)19:00~21:00
 ■場所：同友会会議室またはZOOMでの参加
 ■参加者：8名
 ■テーマ：「ストラック図を作ろう～」実践編パート2
 ■話題提供者：(株)ミドリ機材 代表取締役 小野寺 慎吾 氏

【感想・報告】

前回のルフィー社長に続き小野寺社長に自社のストラック図の作成の経緯と作成後の問題点の抽出について伺いました。



作成にあたり、夏休みの宿題と同様に嫌な課題はぎりぎりにならないと手をつけられないところでは全く同感です。

やはり固定費、変動費の振り分けには苦慮されたようで一概に販管費、一般管理費の大枠では分け切れなく動定元帳をひっくり返しながらか作成されたそうです。ここで初頭に開催した簿記の初歩知識が役に立ったのではないかと思います。

数字が不得手でできれば関わりたくないと思っておりましたが、出てきた自社の数字に違和感を感じると興味と探求心が沸いてきたようで、今後その疑問を解き明かす努力をされるようです。

自身でストラック図を作成してみたメンバーの意見感想も伺い 垣根が低くなったと感じました。ぜひ皆さんも一度試してみられることをおすすめします。

他にもここから派生し今後の物価、賃金、電気料金等インフレ対応をどのようにすべきかなど今後の課題となる（直面する切実な問題）などを共有できました。

因みに前回のルフィー社長と今巷をにぎわしているルフィーなる人物はたぶん別人です。